

輝け！シン尾花沢中

第175号

令和8年

2月2日

長根の山の ふもとはら とおいゆかりの おもだかの

山形県選手団から学ぶ～野沢温泉村からレポート～

現在、全国中学校スキー大会（アルペン競技）に出場する佐藤海杜さん（1年）の引率で、長野県野沢温泉村に来ています。

昨日到着しましたが、雪は尾花沢より少ない気がします。昔の温泉街の雰囲気漂わせている一方、ここも外国の方がずいぶん歩いており、日本らしさと国際色が融合していました。

道路が狭くてバスが宿舎前まで入っていけず、海杜さんと二人で、坂道を二往復して、スキーやワックスなどを運ぶ想定外の事態もありましたが、偶然にも、クロスカントリー競技に出場する、別宿舎の本間鼓白さんとも会えたのでよかったです。

宿舎には、20名ほどの山形県選手団（アルペン競技）が寝食を共にすることになります。

ここまでで、山形県選手団、海杜さんの立ち居振る舞いから学んだことを紹介します。

○「あいさつ」が立派です！

初対面の私に対しても「こんにちは」「おはようございます」を大きな声で言ってくれるので、とてもうれしく思うと共に「がんばれよ！」と応援する気持ちが強くなります。

食事のときも、手を合わせて、リーダーの号令のもと「いただきます」「ごちそうさま」を爽やかに言っています。昨日、北陸自動車道の黒崎サービスエリアでの昼食のとき、海杜さんも、自然と手を合わせて「いただきます」「ごちそうさま」と声にしていました。感謝する気持ちがしっかり身に付いているのですね。

○タイムマネジメントがしっかりしています！

宿舎では、8畳くらいの部屋に3名ほどの選手が入っています。同年代の仲間ですので、夜はなかなか眠ることができないと思いきや、今朝6:15には食堂前でストレッチなどして体をつくっている生徒たちがいました。海杜さんも、7:20にはニュー・グリーンピア津南スキー場へ、キリッとした表情で練習に出かけました。

一流になるためには、スキーの練習だけでなく、普段が大切であることを改めて実感しました。自分を律する＝自律できている中学生に感心したところです。【文責：校長 工藤雅史】



昨日の早朝、出発時の様子です



今朝の野沢温泉村の様子です



早々にスキー場へ出発！